

施策評価シート

【施策の概要】

施策評価シート		登録者(課長)名【1】		道路建設課長 中野 英道	
		主管課(関係課)【2】		道路建設課(都市計画課、道路管理課)	
【施策の概要】					
施策名【3】		分野【4】		まちづくりの方向性【5】	
安1-2 道路・交通の整備		快適な日常生活のために		安全で快適に暮らすまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】			施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	安全で快適な日常生活のためには、都市計画道路・生活道路の整備など、道路交通環境の充実が重要であり、住宅開発などの進展にあわせて、計画的に道路ネットワーク形成を図ることが必要です。 一方、市民のニーズに応じたはなバスの運行に取り組むとともに、NPOなどの多様な主体と連携し、バリアフリー化など、人にやさしい公共交通及び関連施設の充実を図る必要があります。 また、自転車の利用や利用時の安全確保もまちづくりの重要課題であり、対応が求められています。			・都市計画道路・生活道路の整備 ・安全で快適な道路ネットワークの速やかな構築 ・公共交通及び施設のバリアフリー化 ・多様な主体の連携による、さまざまなニーズに応じた公共交通の展開 ・自転車を活用したまちづくりの検討	道路・交通を整備し、市民の日常生活における利便性、安全性の向上をめざします。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】				
	特になし				
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】		
	1	体系的な道路網の整備を進めます	体系的な道路網の整備		
	2	体系的な交通網の整備を図ります	コミュニティバスなど体系的な交通網の整備		
	3	自転車にやさしいまちづくりに取り組みます	自転車駐車場の整備、自転車を活用した取組		

【施策の成果】

				年度	19	20	21	22	23	24
成果指標【12】	指標1	名称	市内の都市計画道路整備率	目標値	整備促進			単位	%	
		算出式・説明	体系的な道路網の整備を進めることによって、市民の日常生活における利便性や安全性の向上をめざす必要があります。目標は「計画に基づき整備促進」としていますが、具体的には計画延長51.18Kmに対する完成延長率とします。	実績値	33	33	33	33	33	
				達成率			-	0%	0%	0%
	指標2	名称	はなバス利用者数	目標値	1,360千人			単位	千人	
		算出式・説明	市民の利便性をさらに向上するために、はなバス運行についてルートなどの見直しを行う必要があります。はなバスの利用者を計ること、市民が利用しやすい体系的な交通網の整備ができているか確認することができます。	実績値	1294	1320	1307	1303	1333	
				達成率	95%	97%	96%	96%	98%	0%
	指標3	名称	自転車駐輪場の整備箇所数	目標値	2箇所			単位	箇所	
		算出式・説明	保谷駅南口、西武柳沢駅南口の駅周辺の自転車駐車場の整備によって、自転車を利用する市民がより安全に、快適に生活できる環境づくりに取り組む必要があります。	実績値	0	0	1	1	2	
				達成率	0%	0%	50%	50%	100%	0%
	指標4	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
				達成率						
達成率の平均値					32%	32%		49%	66%	0%

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度		平成24年度	
満足度(%)	27.3%	満足度(%)	25.9%	満足度(%)	26.7%
満足度(平均ポイント)	-0.53	満足度(平均ポイント)	-0.56	満足度(平均ポイント)	-0.53
重要度(%)	83.7%	重要度(%)	82.3%	重要度(%)	82.5%
重要度(平均ポイント)	1.29	重要度(平均ポイント)	1.3	重要度(平均ポイント)	1.32

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	☐ まだ未達成 ☒ ほぼ達成 ☐ 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	☒ 平均を下回る ☐ ほぼ平均 ☐ 平均を上回る	
施策の成果と課題 (取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等) 【16】		◇都市計画道路や生活道路の整備については、道路用地の取得が困難な箇所があり整備が進まない箇所があります。用地取得については、鋭意努力する必要があります。また整備工事につきましては、安全で快適な道路ネットワークを構築するために必要な事業であり、実施計画に基づき事業をおこなっております。目標達成には、長期の整備期間が必要となります。 ◇はなバスルートについては、平成22年度に短期的な見直しを行い利用者数の増に結び付いた。今後の中長期的なルート見直しに際しては費用対効果を見極める必要があります。 ◇西武柳沢駅南口と保谷駅南口の自転車駐車場の整備が終わり、現在供用開始されている。自転車を活用したまちづくりについて、現在調査研究を行っているところです。		
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	☐ 弱くなっている ☒ 以前と同程度 ☐ 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	☐ 平均を下回る ☐ ほぼ平均 ☒ 平均を上回る	
今後の方針 (具体的な事業群や事務事業を示しながら) 【19】		◇都市計画道路や生活道路の整備については、引き続き整備を進め安全で快適な日常生活の実現のための道路ネットワークの整備という観点から事業の重要度を検証しつつ、計画的に整備を進めます。 ◇はなバスルートの中長期的な見直しについては、都市計画道路の完成による新たな路線バス経路の計画等を踏まえ、費用対効果を検証しながら検討して行きます。 ◇西武柳沢駅南口と保谷駅南口の自転車駐車場の整備を行いました。今後も必要に応じて自転車駐車場の整備に取り組んで行きます。また、自転車を活用したまちづくりについては引き続き調査・研究してまいります。		
総合評価	施策内容の方向性【20】	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	☐ 重点化 ☒ 現状維持 ☐ 効率化		
	施策実施方針【22】	V	コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域	

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	
--------	--

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】	☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 絞込み
	施策実施コストの方向性【21】	☒ 重点化 ☐ 現状維持 ☐ 効率化
	判断理由等【24】	道路・交通の整備については、自転車駐車場の整備について順調に目標を達成し、はなバスのルート見直しについても平成22年度に実施し、目標とする利用者数を確保できている状況です。 また、都市計画道路については、東京都において整備している市内最大の骨格幹線道路である西3・2・6号線の用地取得がほぼ完了し、道路の築造を進めているほか、道路交通ネットワーク形成につながる路線として本市が整備している西3・4・11号線についても、平成24年度末の交通解放を予定するなど、着実に実績を重ねてきています。 しかしながら、都市計画道路については未完成区間が多く残されており、市民意識調査でも満足度は全施策中最も低く、重要度は相対的に高水準にあるという結果からも、積極的な推進が強く求められているものと言えます。 市としても、今後とも都市計画道路・生活道路の整備推進を中心に、はなバスについては今後の都市計画道路等の整備状況に応じた中・長期的なルートの見直しを図り、自転車駐車場についても、今後の需要動向を踏まえた対応を図ることなど、着実な事業推進を図っていくことが妥当と判断しました。
	施策実施方針【22】	I

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
1	西東京都市計画道路3・5・10号線	道路建設課	西3・4・20号線と西3・4・25号線とのネットワークを結び、東西方向のアクセスの強化を図ると共に、ひばりヶ丘駅及び田無駅との連絡を円滑にします。 本事業は、第1工区部分とし、都市再生機構（UR）の直接施行。 路線延長：750m 道路幅員：12m（第1工区、延長：380m）
	西東京都市計画道路3・4・11号線	道路建設課	本路線は、現在事業中の西3・2・6（調布保谷線）号線と整備済み区間の西3・4・16号線（かえで通り）との東西方向のネットワークを結び、多摩北部地域と区部とのアクセスの向上を図り、西東京市周辺交通の円滑化を推進します。新みちづくり・まちづくりパートナー事業に位置づけられ、東京都の受託事業となっています。 道路延長：770m 道路幅員：16m（電線共同溝路線）
	西東京都市計画道路3・4・13号線	道路建設課	本路線は、現在事業中である西3・4・15号線とのネットワークを構築することで、西東京市北部地域の交通の円滑化を図るとともに、区部と多摩地域の交通アクセスを強化する路線として位置づけられています。新みちづくり・まちづくりパートナー事業に位置づけられ、東京都の受託事業となっています。 道路延長：300m 道路幅員：16m（電線共同溝路線）
	西東京都市計画道路3・4・15号線	道路建設課	現在事業中である西3・4・13号線及び西3・3・14号線とのネットワークを結ぶことで、西東京市北部地域の交通の円滑化を図ると共に、保谷駅北口への直接のアクセスを向上させます。 道路延長：597m 道路幅員：16m（電線共同溝路線）
	西東京都市計画道路3・4・17号線の整備検討【事前】	道路建設課	東伏見駅南口と西3・3・3号線を結び、東伏見駅南口へのアクセスを向上させます。第三次事業化計画において優先的な整備路線としては位置づけられていません。現在、整備を進めている路線の進捗状況を見ながら事業実施時期を検討していきます。
	西東京都市計画道路3・4・24号線（田無駅南口広場）の整備検討【事前】	都市計画課	田無駅南口から西3・4・1号線を南北方向に結ぶネットワークを形成します。交通広場部分のみが第三次事業化計画において優先的な整備路線として位置づけられています。現在、整備を進めている他の路線の進捗状況を見ながら事業実施時期を検討していきます。
	道路の新設改良及び拡幅事業	道路建設課	西東京市道路整備計画に基づき、市民の安全性・利便性・防災面に配慮し、狭隘な道路の新設改良・拡幅その他必要とする道路工事を行います。
	向台町三丁目・新町三丁目地区地区計画関連周辺道路整備	道路建設課	旧IHI工場跡地の開発に伴う人口及び交通量の増大が予想され、開発区域内道路にアクセスする周辺道路を整備します。日常的に利用する生活道路として、安全快適な道路空間の確保を目指し、歩行者空間のネットワーク化と車両交通の円滑化を図るため、当該周辺道路の整備を進めます。
	踏切道拡幅事業	道路建設課	西東京市道路整備計画の中で、長期的には鉄道立体化による踏切の解消を検討していますが、歩行者の安全確保を目的とした短中期的な対策を実施する必要があるため、西東京市都市計画マスタープランに基づくまちづくりの実現に向けた交通網の整備として、国土交通省の「緊急踏切」並びに東京都で位置付けられた「重点踏切」箇所について、早期の対策効果が得られる箇所について、調査・研究を行う。
	交差点の見通し改良事業【事前】	道路建設課	見通しの悪い市道の交差点の見通しを良くするために、交差点部分のブロック塀等を撤去して見通しの良いネットフェンスに取替え等の改修を実施します。現在、実施手法の検討を行なっています。
	ひばりが丘団地建替計画関連周辺道路整備事業【事前】	道路建設課	ひばりが丘団地の建替に伴い周辺道路の整備を進めます。主要生活道路としての位置づけがある現道を拡幅し、交通の円滑化及び安全かつ快適な歩行空間の確保を図ります。平成24年度から市道111号線の拡幅整備事業を市と都市再生機構と協力して実施します。
	西東京都市計画道路3・4・18号線の整備検討【事前】	道路建設課	西武柳沢駅北口から西3・4・11号線を南北方向に結ぶネットワークを形成します。西武柳沢駅北口から西3・5・4号線（新青梅街道）まで、第三次事業化計画において優先的な整備路線として位置づけられています。現在、整備を進めている他の路線の進捗状況を見ながら事業実施時期を検討していきます。

総コスト(千円) ：評価年度【28】			事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
事業費	人件費					
241,792	239,342	2,450	事業化 (平成21年度)	－	ひばりが丘団地周辺のまちづくりの骨格となる本路線を整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
329,884	325,801	4,083	継続実施 (平成21年度)	下	東京都が進めている西3・2・6号線の整備とあわせて、本路線を整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
164,138	160,055	4,083	継続実施 (平成21年度)	下	東京都が進めている西3・2・6号線の整備とあわせて、本路線を整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
77,601	73,518	4,083	継続実施 (平成21年度)	下	保谷駅北口のまちづくりの骨格となる本路線を整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
0	0	0	－	－	東伏見駅周辺のまちづくりの骨格となる本路線を整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
8,672	4,589	4,083	－	－	田無駅南口のまちづくりの骨格となる本路線を整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
422,434	419,168	3,266	継続実施 (平成23年度)	上	狭い市内道路を拡幅整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
699,079	696,629	2,450	継続実施 (平成21年度)	中	旧IHI工場跡地周辺のまちづくりの骨格となる道路を整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
0	0	0	事業化 (平成21年度)	－	踏切を拡幅整備することにより、歩行者の安全確保と渋滞の解消など交通網の整備が図れ、国や東京都の「重点踏切」の解消に貢献します。	B
0	0	0	実施を延期 (平成23年度)	－	市内道路の見通しの悪い交差点を改良することにより交通事故を防ぎ安全性の向上を図ることができます。	C
177,335	175,702	1,633	－	－	ひばりが丘団地周辺のまちづくりの骨格となる道路を整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B
0	0	0	－	－	西武柳沢駅のまちづくりの骨格となる本路線を整備することにより、市民生活における利便性・安全性の向上を図ることができます。	B

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
2	はなバスの運行	都市計画課	交通不便地域の解消と公共施設への利便性の向上を図り、市民の交流を促進するため、コミュニティバスを運行します。バス事業者と協定を結び、市内5路線を運行しています。市はバス事業者との協定に基づき、バスの運行に係る経費と利用料金収入の差額における赤字分を補助金として補填します。
3	自転車を活用したまちづくりについて調査・研究	道路管理課	環境にやさしい自転車利用の利便性向上と促進のため、西武柳沢駅南口自転車駐車場でレンタサイクルを行っている。
事業の合計			

総コスト(千円) ：評価年度【28】			事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
事業費	人件費					
114, 225	107, 693	6, 532	抜本的見直し (平成20年度)	上	交通不便地域の解消と公共施設への 利便性の向上を図り、市民の交流が促 進されます。	A
0	0	0	－	－	自転車を利用する市民がより安全で、 快適に生活できるようになります。	B
2, 235, 160	2, 202, 497	32, 663				